

全国万引犯罪防止機構理事長

竹花 豊

万引防止船「マンボ
ー号」は未踏の大陸に
たどり着けるか？

明けましておめでと
うございます。今年
も、へこたれず、あき
らめずに、万引対策を
推進しますので、よろ
しく願います。



そこから、警察の捜
査権に頼るほかない組
織的万引犯罪について

さて、昨年3月に開
催した「万引対策強化
国際会議2017」
は、盛会のうちに終了
し、参加者全員によっ
て、「万引対策強化宣
言」が採択されまし
た。アメリカからお越
し頂いたロスプリベン
ションの専門家たちと
の率直な議論が、日本
における万引対策の足
らざる点を明らかにし
てくれました。

そこら、警察の捜
査権に頼るほかない組
織的万引犯罪について
は捜査がし易いよう
に、被害者側で情報を
収集、整理して警察に
提供する、また、万引
犯に対して小額の損害
賠償責任を追及しやす
いような法律を策定し
てもらう、あるいは、
万引犯に対する犯罪防
止教育を、部外の学者
等の力を借りながら、
進めるなどしているの
です。

この会議が開催され
る頃、一部の小売店舗
で、万引犯の顔写真を
ウェブなどで公開した
ことが議論を呼んでい
ましたが、他に方法が
ないという店舗側の切
羽詰った状況を、同業
の被害者が情報を持ち
寄って、ともに対策を

売に関わるすべての方
々が一体となって、万
引対策本部を設置し、
当機構と協働して様々
なプロジェクトを始め
ました。同じ地域の書
店同士が、万引きの被
害や犯人の情報を提供
しあう取り組みです。ド
ラッグストアでも、事
業者の枠を超えて、情
報を提供し合う取組み
が一段と加速されてき
ています。

また、万引犯人に対
する再犯防止教育にも
新たな対策が具体化し
てきました。アメリカ
で進めている防止教育
のテキストを参考にし
ながら、日本版の教育
ビデオの策定に、当機
構を中心に取掛かっ
ています。

これを、都道府県、
警察と検察の皆さんと
協力しながら、全国に
広げていきたいので
す。高齢者の万引きが
増加している中で、そ
れに対する対策として
有力なものになると考
えています。

ロスプリベンション
を本格的に取り上げる
取組みにも着手しまし
た。当機構では、その
ための教育プログラム
を現場の方々と共同し
て作成し始めていま
す。今年の秋ごろには
最終案がまとまる予定
です。万引対策だけで
は経営責任者が本気に
なってくれないのが実
情です。

そこで、内部不正を
含め、何がそれぞれの
業界でロスの内容とな
っているのか、それが
どのくらいで、どう対
処すればロスが減らせ
るのかを、大きな努力
をかけずに把握してい
くことは、すべての経
営責任者にとって、わ
かりやすいものです。
そこから、万引被害も
もっと明らかにし、
その重要性も理解が深
まるうというもので
す。

今年はこのような
新たな取組みが着実に
広がっていくように全
力で取り組みたいと思
っております。

ただ、出航したばか
りのマンボー号は馬力
が足りないのが実情で
す。推進力強化の決め
手は、社会全体が万引
問題の解決に大きな支
援をしてくれることで
す。そのためには、万
引被害の深刻さを十分
には伝えられていない
現状を大きく変える必
要があります。万引き
の被害の総額、業界ご
との内訳、代表的な事
業者の被害の詳細が明
らかにされてこそ、「万
引きはそんなにひどい
のか、何とかしないと
小売店がかわいそう
だ。」と思ってもらえ
ない、社会全体の支援が得ら
れるというものです。
そのフォロワーの風がマ
ンボー号を一気に前進
させるのです。

そこで、昨年9月
に広島で開催されたア
ジアの警備業の国際会
議でも話させていた
いたのですが、警備業
の方々は万引問題の最
前線で活躍されてお
り、万引問題について
多くの知識を持たれて
おります。また、事業
者の方々に様々なアド
バイスをできる立場に
あります。

皆さんとわたしたち
全国万引犯罪防止機構
がこれまで以上に緊密
に連携していくこと
は、わが国の万引問題
の解決にとって不可欠
のことです。

万引防止船マンボ
ー号にお乗りいただける
よう願っていて、新年
の挨拶とさせていただきます。